第5章 資料編

設立当初の役員・会員一覧

現在の役員名簿

現在の会員名簿

歴代役員一覧（昭和44年～）

設立当初の定款

現在の定款

5-1 設立当初の役員・会員一覧

■ 役員、委員等一覧（昭和24年6月）

名誉会長	鈴木文史朗（リーダーズ・ダイジェスト日本支社）
理事	【理事長】佐佐木茂索（文藝春秋新社）【専務理事】石川数雄（主婦之友社） 【常務理事】本吉信雄（婦人画報社）、尾張眞之介（講談社）、嶋中鵬二（中央公論社） 【理事】奥原潔（家の光協会）、福村保（福村書店）、朝倉鑛造（朝倉書店）、小野高久良（博友社）、三浦捷一（有朋堂）
監事	【常任監事】金原四郎（日本医書出版社）、北原鉄雄（アルス）
評議員	【議長】牧野武夫（乾元社）【副議長】阿井國蔵（産業図書） 【評議員】國分夙（英語通信社）、赤尾好夫（旺文社）、平田貫一郎（改造社）、岡沢一夫（鎌倉文庫）、荻原誠三郎（三共出版社）、来島捨六（山海堂）、藤原喜代蔵（昌平社）、千倉豊（千倉書房）、目黒四郎（目黒書店）、中村梧一郎（八雲書店）
委員	渉外委員会【委員長】佐佐木茂索（文藝春秋新社）【委員】栗本和夫（中央公論社）、金原四郎（日本医書出版社）、牧野武夫（乾元社） 用紙対策委員会【委員長】岡沢一夫（鎌倉文庫）、【委員】深井深（旺文社）、平田貫一郎（改造社）、三浦捷一（有朋堂）、北原鉄雄（アルス）、奥原潔（家の光協会）、沢村三木男（文藝春秋新社） 販売対策委員会【委員長】阿部捷男（主婦之友社）【委員】福村保（福村書店）、朝倉鑛造（朝倉書店）、小野高久良（博友社）、本吉信雄（婦人画報社）、由井千春（講談社）、高野正博（中央公論社）、沢村三木男（文藝春秋新社）、三浦捷一（有朋堂） 新聞委員会【委員長】栗本和夫（中央公論社）【委員】田村年雄（講談社）、片山修三（思索社）、岡沢一夫（鎌倉文庫）、阿部捷男（主婦之友社）
事務局長	田村年雄（講談社）
事務局員	坂田謙二、橘経雄、高梨実、太田英子、小杉ヒデ子、西村わか子

（注1）『全国出版新聞』第1号（昭和24年6月27日付）による。なお同号には記載がないが、最重要な案件として設立当初時から日配対策委員会が設置されていた。

（注2）『日本雑誌協会史 第二部 戦中・戦後期』223ページには、「(昭和)24年5月10日、全国出協は当面の緊急問題を処理するため、(1)日配対策委員会(2)用紙対策委員会(3)渉外対策委員会の3委員会を設け活動に入った。」「日配対策特別委員会（全国出協から田村年雄、阿部捷男、本吉信雄）を組織し、日配閉鎖後の出版販売の確保、支払いの促進、将来の販売対策等を練ることとなった。」と記されている。

■ 会員名簿（昭和25年5月10日、61社）

朝倉書店（朝倉鑛造）、アルス（北原鉄雄）、家の光協会（奥原潔）、岩谷書店（岩谷満）、英語通信社（今井信之）、旺文社（赤尾好夫）、改造社（平田貫一郎）、鎌倉文庫（岡沢一夫）、学習研究社（古岡秀人）、協同出版（小貫英）、乾元社（牧野武夫）、研究社（小酒井益蔵）、講談社（尾張眞之介）、公友社（井上正也）、光文社（茂木茂）、光画社（北野邦雄）、産業図書（倉橋久）、尚文館（林太郎）、自由書院（藤原喜代蔵）、思索社（片山修三）、主婦之友社（石川数雄）、実業之日本社（増田義彦）、新潮社（佐藤義夫）、小学館（相賀徹夫）、誠文堂新光社（小川誠一郎）、世界社（萱原宏一）、大修館書店（鈴木一平）、千倉書房（千倉豊）、中央公論社（嶋中鵬二）、地球出版（戸田節治郎）、東京漫画出版社（矢沢信行）、東洋経済新報社（宮川三郎）、中根書房（中根弘）、七洋社（原田憲次郎）、日本社（瀬尾正男）、日本医書出版（金原作輔）、日本週報社（湯川洋蔵）、日本教文社（北岡文人）、日本青年館（鈴木文史朗）、野ばら社（志村文蔵）、白鷗社（中村正耕）、博友社（小野高久良）、羽田書店（伊藤竹男）、日比谷出版社（永井竜男）、文藝春秋新社（佐佐木茂索）、婦人画報社（本吉信雄）、二葉（大野治輔）、福村書店（福村保）、フレーベル館（小河幸三郎）、富国出版社（小玉邦雄）、宝文社（大葉久治）、北星堂書店（中土順平）、ホト・ギス社（高浜年尾）、ポプラ社（久保田忠夫）、牧書店（牧義雄）、名曲堂出版部（比良正吉）、目黒書店（目黒謹一郎）、明文堂（周防時雄）、矢貴書店（矢貴東司）、有朋堂（三浦捷一）、リーダーズ・ダイジェスト日本支社（鈴木文史朗）

『日本雑誌協会史 第二部 戦中・戦後期』222ページによる。カッコ内は会員代表者。

5-2

公益社団法人全国出版協会 役員名簿

2020 (令和 2) 年 3 月現在

理事長	浅野純次	(元 東洋経済新報社社長)
常務理事	堀川嘉一	(出版科学研究所所長)
理事	赤尾文夫	(旺文社顧問)
理事	佐藤隆信	(新潮社社長)
理事	相賀昌宏	(小学館社長)
理事	立花 隆	(評論家)
理事	柳楽節雄	(元 家の光協会専務理事)
理事	上野 徹	(元 文藝春秋社長)
理事	野間省伸	(講談社社長)
理事	堀内丸恵	(集英社社長)
理事	丹下伸彦	(光文社相談役)
理事	藤井武彦	(トーハン顧問)
理事	近藤敏貴	(トーハン社長)
監事	大橋一弘	(博文館新社社長)
監事	山崎厚男	(八重洲ブックセンター社長)
顧問	肥田美代子	(文字・活字文化推進機構理事長)
顧問	田中健五	(元 全国出版協会会長・元 文藝春秋社長)
顧問	上瀧博正	(前 全国出版協会理事長・元 トーハン社長)

5-3

公益社団法人全国出版協会 会員名簿

2020(令和2)年3月現在 90社93名

出版社	代表者名	役職
あかね書房	岡本光晴	社長
秋田書店	樋口茂	社長
朝倉書店	朝倉誠造	社長
朝日新聞出版	青木康晋	社長
明日香出版社	石野栄一	社長
家の光協会	関口聡	代表理事専務
池田書店	池田豊	会長
岩崎書店	岩崎弘明	社長
岩波書店	岡本厚	社長
インプレス	小川亨	社長
潮出版社	南晋三	社長
NHK出版	森永公紀	社長
オーム社	村上和夫	社長
旺文社	赤尾文夫	顧問
音楽之友社	時枝正	取締役
KADOKAWA	村川忍	執行役員
河出書房新社	小野寺優	社長
学研ホールディングス	宮原博昭	社長
共立出版	南條光章	社長
金の星社	斎藤健司	社長
くもん出版	志村直人	社長
暮らしの手帖社	阪東宗文	社長
研究社	吉田尚志	社長
建帛社	筑紫恒男	会長
玄光社	北原浩	社長
幻冬舎	見城徹	社長
講談社	野間省伸	社長
交通新聞社	江頭誠	相談役
光文社	丹下伸彦	相談役
小峰書店	小峰広一郎	社長
産業図書	飯塚尚彦	社長
三省堂	北口克彦	社長
サンマーク出版	植木宣隆	社長
集英社	堀内丸恵	社長
主婦と生活社	高納勝寿	社長
主婦の友社	矢崎謙三	社長
小学館	相賀昌宏	社長
彰国社	後藤武	会長
祥伝社	辻浩明	社長
少年画報社	戸田利吉郎	社長
新興出版社啓林館	佐藤諭史	社長
新星出版社	富永靖弘	社長
新潮社	佐藤隆信	社長
実業之日本社	岩野裕一	社長
青春出版社	小澤源太郎	社長
成美堂出版	深見公子	社長
誠文堂新光社	小川雄一	社長

出版社	代表者名	役職
世界文化社	鈴木美奈子	社長
草思社	渡辺直之	専務取締役
大修館書店	鈴木一行	社長
大洋図書	小出英二	会長
高橋書店	高橋秀雄	社長
竹書房	竹村響	取締役統括局長
辰巳出版	廣瀬和吉	会長
第三文明社	大島光明	社長
ダイヤモンド社	鹿谷史明	会長
大和書房	佐藤靖	社長
筑摩書房	喜入冬子	社長
中央経済社ホールディングス	山本憲央	社長
中央公論新社	松田陽三	社長
東洋経済新報社	山縣裕一郎	会長
徳間書店	平野健一	社長
童心社	田中正美	社長
日刊工業新聞社	奥村功	出版局長
日経BP	吉田直人	社長
日本カメラ社	樋口肇一	社長
日本経済新聞出版社	金子豊	社長
日本実業出版社	杉本淳一	社長
日本図書普及	平井茂	社長
日本文芸社	中村誠	会長
白泉社	鳥嶋和彦	会長
博文館新社	大橋一弘	社長
ハースト婦人画報社	ニコラ・フロケ	社長
評論社	竹下晴信	社長
白夜書房	森下信太郎	社長
PHP研究所	清水卓智	社長
扶桑社	久保田榮一	社長
双葉社	戸塚源久	社長
ブロンズ新社	若月真知子	代表取締役
文英堂	益井英郎	社長
文化出版局	児島幹規	出版事業部事業部長
文藝春秋	中部嘉人	社長
平凡社	下中直人	会長
ベレ出版	内田真介	社長
芳文社	孝壽尚志	社長
ポプラ社	千葉均	社長
マガジンハウス	石崎孟	会長
三笠書房	押鐘富士雄	会長
リイド社	齊藤哲人	社長
トーハン	近藤敏貴	社長
トーハン	藤井武彦	顧問
トーハン	山崎厚男	元社長
	浅野純次	理事長

5-4

全国出版協会 歴代役員一覧① (昭和44年4月～平成9年)

役員名	所属	役員在任期間	昭 44.4 (1969)	昭 46.4 (1971)	昭 48.4 (1973)	昭 49.4 (1974)	昭 50.4 (1975)	昭 52.4 (1977)	昭 52.12 (1977)	昭 54.4 (1979)
池 邊 傳	トーハン	(昭 44.4～昭 57.8)	理事長	理事長
本 吉 信 雄	婦人画報社	(昭 44.4～昭 63.5)	常務理事	専務理事	専務理事	専務理事	理事	理事	理事	理事
高橋 松之助	トーハン	(昭 44.4～昭 52.7)	常務理事	常務理事	常務理事	常務理事	常務理事	常務理事		
石 川 数 雄	主婦の友社	(昭 44.4～昭 57.4)	理事	理事
野 間 省 一	講談社	(昭 44.4～昭 56.4)	理事	理事
朝 倉 鑲 造	朝倉書店	(昭 44.4～平 6.1)	理事	理事
奥 原 潔	家の光協会	(昭 44.4～昭 48.4)	理事	理事						
赤 尾 好 夫	旺文社	(昭 44.4～昭 60.9)	理事	理事
小川 誠一郎	誠文堂新光社	(昭 44.4～昭 54.4)	理事	
相 賀 徹 夫	小学館	(昭 44.4～平 16.5)	理事	理事
佐 藤 亮 一	新潮社	(昭 44.4～平 14.5)	理事	理事
嶋 中 鵬 二	中央公論社	(昭 44.4～平 9.4)	理事	理事
池 島 信 平	文藝春秋	(昭 44.4～昭 48.2)	理事	理事						
岩 出 貞 夫	東京堂	(昭 44.4～平 4.5)	監事	監事
神 吉 晴 夫	光文社	(昭 44.4～昭 46.4)	監事							
原 田 常 治	婦人生活社	(昭 44.4～昭 52.8)	監事	監事	監事	監事	監事	監事		
五十嵐 勝弥	光文社	(昭 46.4～昭 50.4)		監事	監事	監事				
澤村 三木男	文藝春秋	(昭 48.4～昭 57.9)			理事	理事	理事	理事	理事	理事
赤 尾 稔	トーハン	(昭 49.4～昭 63.5)				理事	専務理事	専務理事	専務理事	専務理事
小保方 宇三郎	光文社	(昭 50.4～昭 56.4)					監事	監事	監事	監事
石 川 度 治	トーハン	(昭 52.12～昭 63.5)							常務理事	常務理事
千 葉 源 蔵	文藝春秋	(昭 54.4～平 2.5)								理事
服 部 敏 幸	講談社	(昭 56.4～平 10.5)								
堀 内 末 男	集英社	(昭 56.4～平 4.5)								
石 井 彦 澄	トーハン	(昭 56.4～昭 63.5)								
小 林 武 彦	光文社	(昭 56.4～平 14.10)								
石 川 晴 彦	主婦の友社	(昭 57.9～平 14.5)								
角 屋 正 隆	トーハン	(昭 57.9～平 4.5)								
鈴 木 正 直	トーハン	(昭 59.5～昭 61.5)								
遠 藤 健 一	トーハン	(昭 61.5～平 8.5)								
山 中 平 吉	トーハン	(昭 62.5～平 2.5)								
赤 尾 一 夫	旺文社	(昭 63.5～平 8.5)								
本 吉 敏 男	婦人画報社	(昭 63.5～平 18.5)								
田 中 實	トーハン	(昭 63.5～平 8.5)								
関 根 登	トーハン	(平 2.5～平 3.7)								
田 中 健 五	文藝春秋	(平 2.5～平 26.5)								
上 瀧 博 正	トーハン	(平 2.5～平 30.5)								
時 枝 俊	トーハン	(平 3.7～平 8.5)								
栗 原 幸 治	トーハン	(平 3.7～平 11.7)								
若 菜 正	集英社	(平 4.5～平 14.5)								
朝 倉 邦 造	朝倉書店	(平 6.5～平 28.1)								
赤 尾 文 夫	旺文社	(平 8.5～								
高 橋 貞 雄	トーハン	(平 8.5～平 9.5)								
小 林 辰 三 郎	トーハン	(平 8.5～平 26.5)								
笹 子 富 士 彌	トーハン	(平 9.5～平 10.5)								
安 井 一 男	トーハン	(平 9.5～平 12.5)								
藤 井 武 彦	トーハン	(平 9.5～								

昭 56.4 (1981)	昭 57.9 (1982)	昭 59.5 (1984)	昭 61.5 (1986)	昭 62.5 (1987)	昭 63.5 (1988)	平 2.5 (1990)	平 3.7 (1991)	平 4.5 (1992)	平 6.5 (1994)	平 8.5 (1996)	平 9.5 (1997)
理事長											
理事	理事	理事	理事	理事							
理事											
理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事			
理事	理事	理事									
理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	
監事	監事	監事	監事	監事	監事	監事	監事				
理事											
専務理事	名誉会長	名誉会長	名誉会長	名誉会長							
常務理事	理事長	理事長	理事長	理事長							
理事	理事	理事	理事	理事	理事						
理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事				
理事	常務理事	常務理事	常務理事	常務理事							
監事	監事	監事	監事	監事	監事	監事	監事	監事	監事	監事	監事
	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
	専務理事	専務理事	専務理事	専務理事	理事長	理事長	理事				
		監事									
			監事	監事	専務理事	専務理事	理事長	理事長	理事長		
				理事	常務理事						
					理事	理事	理事	理事	理事		
					理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
					監事	監事	監事	監事	監事		
						常務理事					
						理事	理事	理事	理事	理事	理事
						理事	専務理事	専務理事	専務理事	理事長	理事長
							理事	理事	理事		
							常務理事	常務理事	常務理事	常務理事	常務理事
								理事	理事	理事	理事
										理事	理事
										理事	理事
										理事	
										監事	理事
											理事
											理事
											監事

5-4 全国出版協会 歴代役員一覧② (平成10年～)

役員名	所属	役員在任期間	平 10.5 (1998)	平 11.7 (1999)	平 12.5 (2000)	平 14.5 (2002)	平 14.10 (2002)	平 16.5 (2004)	平 18.5 (2006)	平 19.5 (2007)
相 賀 徹 夫	小学館	(昭 44.4～平 16.5)	理事	理事	理事	理事	理事			
佐 藤 亮 一	新潮社	(昭 44.4～平 14.5)	理事	理事	理事					
小 林 武 彦	光文社	(昭 56.4～平 14.10)	理事	理事	理事	理事				
石 川 晴 彦	主婦の友社	(昭 57.9～平 14.5)	理事	理事	理事					
本 吉 敏 男	婦人画報社	(昭 63.5～平 18.5)	理事	理事	理事	理事	理事	理事		
田 中 健 五	文藝春秋	(平 2.5～平 26.5)	理事	理事	理事	理事	理事	理事	会長	会長
上 瀧 博 正	トーハン	(平 2.5～平 30.5)	理事長	理事長	理事長	理事長	理事長	理事長	理事長	理事長
栗 原 幸 治	トーハン	(平 3.7～平 11.7)	常務理事							
若 菜 正	集英社	(平 4.5～平 14.5)	理事	理事	理事					
朝 倉 邦 造	朝倉書店	(平 6.5～平 28.1)	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
赤 尾 文 夫	旺文社	(平 8.5～)	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
小林 辰三郎	トーハン	(平 8.5～平 26.5)	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
安 井 一 男	トーハン	(平 9.5～平 12.5)	理事	理事						
藤 井 武 彦	トーハン	(平 9.5～)	監事	監事	監事	監事	監事	監事	監事	監事
浜 田 博 信	講談社	(平 10.5～平 23.3)	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
金 田 万 寿 人	トーハン	(平 10.5～平 16.5)	理事	理事	理事	理事	理事			
清 水 英 夫	弁護士	(平 10.5～平 25.5)	監事	監事	監事	監事	監事	監事	監事	監事
早 川 友 久	トーハン	(平 11.7～平 20.7)		常務理事	常務理事	常務理事	常務理事	常務理事	常務理事	常務理事
佐 藤 隆 信	新潮社	(平 14.5～)				理事	理事	理事	理事	理事
谷 山 尚 義	集英社	(平 14.5～平 20.7)				理事	理事	理事	理事	理事
浅 野 純 次	東洋経済新報社	(平 14.5～)				理事	理事	理事	理事	理事
山 本 昌 之	家の光協会	(平 14.5～平 19.3)				理事	理事	理事	理事	
並 河 良	光文社	(平 14.10～平 22.5)					理事	理事	理事	理事
相 賀 昌 宏	小学館	(平 16.5～)						理事	理事	理事
村 松 邦 彦	主婦の友社	(平 18.5～平 21.5)							理事	理事
立 花 隆	評論家	(平 18.5～)							理事	理事
柳 楽 節 雄	家の光協会	(平 19.5～)								理事
渡 辺 鋭 氣	文字・活字文化推進機構	(平 19.5～平 25.3)								理事
山 下 秀 樹	集英社	(平 20.7～平 25.5)								
阿 部 信 行	トーハン	(平 20.7～平 26.5)								
上 野 徹	文藝春秋	(平 21.5～)								
高 橋 基 陽	光文社	(平 22.5～平 29.5)								
野 間 省 伸	講談社	(平 23.3～)								
堀 内 丸 恵	集英社	(平 25.5～)								
堀 川 嘉 一	トーハン	(平 26.5～)								
大 橋 一 弘	博文館新社	(平 26.5～)								
山 崎 厚 男	トーハン	(平 26.5～)								
小 峰 紀 雄	小峰書店	(平 28.5～平 30.6)								
丹 下 伸 彦	光文社	(平 29.5～)								
近 藤 敏 貴	トーハン	(令 1.5～)								

平 20.7 (2008)	平 21.5 (2009)	平 22.5 (2010)	平 23.3 (2011)	平 24.5 (2012)	平 25.3 (2013)	平 25.5 (2013)	平 26.5 (2014)	平 28.5 (2016)	平 29.5 (2017)	平 30.5 (2018)	令 1.5 (2019)
会長					
理事長		
理事	会長				
理事	理事
理事					
監事	理事	理事	理事	理事	理事
理事	理事	理事									
監事	監事	監事	監事	監事	監事						
理事	理事
理事	会長	会長	理事長	理事長
理事	理事										
理事	理事
理事											
理事	理事
理事	理事
理事	理事	理事	理事	理事							
理事	理事	理事	理事	理事	理事						
常務理事	常務理事	常務理事	常務理事	常務理事	専務理事	専務理事					
	理事	理事
		理事			
			理事	理事
						理事	理事	理事	理事	理事	理事
							常務理事	常務理事	常務理事	常務理事	常務理事
							監事	監事	監事	監事	監事
							監事	監事	監事	監事	監事
								理事	理事	理事	
									理事	理事	理事
											理事

5-6 定款（公益認定後 2020(令和2)年3月現在）

公益社団法人全国出版協会 定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、公益社団法人全国出版協会と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都新宿区に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、文字・活字文化の振興と啓発を図るとともに、出版の動態及び関連する事態の調査研究を行い、もってわが国文化の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1 出版の生産、輸出及び市場に関する調査研究並びに各種統計等関連資料の作成及び刊行
  - 2 出版科学研究所を運営し、出版に関する情報収集及び提供を行う
  - 3 出版及び文字・活字文化の振興に関連する講演会を開催する
  - 4 文字・活字文化振興のため、普及啓発を推進する
  - 5 関係団体と連携を図り、文字・活字文化の振興に寄与する
  - 6 その他目的を達成するために必要な事業
- 2 前項各号の事業は、日本全国において行うものとする。

第3章 会員

(法人の構成員)

第5条 この法人の会員は、出版及びそれに関連する事業を営む者であって、次条の規定によりこの法人の会員となった者をもって構成する。

- 2 前項の会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号）に規定する社員とする。

(会員の資格の取得)

第6条 この法人の会員になろうとする者は、理事会の定めるところにより申込みをし、その承認を受

けなければならない。

第7条 (会費)

前条の承認を受けた会員は、会員規則の定めるところにより会費を納めなければならない。

- 2 既納の会費はいかなる理由があっても返還しない。(任意退会)

第8条

会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第9条

会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。この場合、総会で議決する前に総会の場においてその会員に弁明の機会を与えなければならない。

- (1)この定款その他の規則に違反したとき
- (2)この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき
- (3)その他除名すべき正当な事由があるとき

(会員資格の喪失)

第10条

前2条の場合のほか、会員は次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1)第7条の支払い義務を1年以上履行しなかったとき
- (2)総会員が同意したとき
- (3)当該会員が死亡し、又は解散したとき

第4章 総会

(構成)

第11条

総会は、すべての会員をもって構成する。

- 2 前項の総会をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員総会とする。

(権限)

第12条

総会は、次の事項について決議する。

- (1)会員の除名
- (2)理事及び監事の選任又は解任
- (3)理事及び監事の報酬等の額
- (4)貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
- (5)定款の変更
- (6)解散及び残余財産の処分
- (7)その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第13条

総会は定時総会として毎年度5月に1回開催する

- ほか、臨時総会として必要がある場合に開催する。
- (招集)
- 第14条 総会の招集は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。
- 2 総会員の議決権の5分の1以上の議決権を有する会員は、理事長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。
- 3 その場合理事長は、その請求があった日から6週間以内の日を臨時総会の日とする臨時総会の招集を通知する。
- 4 総会の招集は、少なくとも2週間以前に、総会の目的である事項、日時及び場所を記載した書面をもって通知する。
- (議長)
- 第15条 定時総会の議長は、理事長とし、臨時総会の議長は、会議の都度出席会員の中から選出する。
- (議決権)
- 第16条 総会における議決権は、会員1名につき1個とする。
- (決議)
- 第17条 総会の決議は、総会員の半数以上であって、総会員の議決権の過半数を有する会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。ただし当該議事につき、書面をもってあらかじめ意思を表示した者及び他の会員を代理人として表決を委任したものは、出席者とみなす。
- 2 総会の決議は、可否同数の時は議長の決するところによる。ただし、前項前段の場合において、議長は会員として議決に加わることができない
- 3 第1項の規定にかかわらず、次の決議は、総会員の議決権の4分の3以上に当たる多数をもって行う。
- (1)会員の除名
- (2)理事の解任
- (3)監事の解任
- (4)定款の変更
- (5)解散
- (6)その他法令で定められた事項
- 4 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第19条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。
- (議事録)
- 第18条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び出席した理事のうちから、当該総会において選出された議事録署名人2名以上は、前項の議事録に記名押印する。
- 3 総会の議事の要領及び議決した事項は、全会員に通知する。

第5章 役員

(役員の設定)

- 第19条 この法人に次の役員を置く。
- (1)理事 10名以上15名以内
- (2)監事 2名以内
- 2 理事のうち1名を理事長とする。
- 3 理事のうち1名を専務理事、2名以内を常務理事とすることができる。
- 4 第2項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、第3項の専務理事、常務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

- 第20条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。
- 2 理事長及び専務理事、常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
- 3 理事のうち、理事のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係のある者の合計数が、理事総数の3分の1を超えてはならない。監事についても同様とする。
- 4 他の同一の団体（公益法人を除く）の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にある者である理事の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。
- 5 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。

(理事の職務及び権限)

- 第21条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。
- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、専務理事、常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 3 理事長及び専務理事、常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

- 第22条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。
- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

- 第23条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の

- 時までとする。
- 2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。
  - 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の残任期間とする。
  - 4 理事又は監事については、再任を妨げない。
  - 5 理事又は監事は、第19条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)
第24条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(役員報酬等)
第25条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事及び監事に対しては、総会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(責任免除又は限定)
第26条 この法人は、役員一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として、免除することができる。

- 2 この法人は、外部役員等との間で、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には賠償責任を限定する契約を締結することができる。なお、責任の限度額は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第113条第1項の規定による最低責任限度額とする。

第6章 理事会

(構成)
第27条 この法人に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)
第28条 理事会は、次の職務を行なう。

- (1)この法人の業務執行の決定
- (2)理事の職務の執行の監督
- (3)理事長及び専務理事、常務理事の選定又は解職

(招集)
第29条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)
第30条 理事会の議長は理事長がこれに当たり、理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、専務理事がこれを代理し、専務理事が欠けたと

き又は専務理事に事故があるときは、常務理事がこれを代理する。

(決議)
第31条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)
第32条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第7章 運営と組織

(事務局)
第33条 この法人の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局には所要の職員を置く。

3 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

(会長及び名誉会長等)
第34条 この法人には、会長1名及び名誉会長1名、顧問若干名を置くことができる。

2 会長、名誉会長及び顧問は、次の職務を行う。

- (1)理事長の相談に応じること
- (2)理事会から諮問された事項について参考意見を述べること
- (3)会長は、本協会の文字・活字文化の振興及び啓発を推進する

3 会長及び名誉会長、顧問の選任、解任は理事会において決議する。

4 会長及び名誉会長、顧問の報酬は、理事会において別に定める。

(評議員会)
第35条 この法人に、次の各号を行なうため評議員会を置くことができる。

(1)この法人の普及発展に資するため定期または随時に所要の助言を行うこと

(2)理事会から諮問された事項について広範な見地から参考意見を述べること

2 前項の評議員会は、40名以内の会員及び有識者をもって構成し、理事会において選任及び解任する。

3 第1項の会議の運営の細則は、理事会において定める。

第8章 資産及び会計

(事業年度)
第36条 この法人の事業年度は毎年4月1日に始まり翌年3

月31日に終わる。
(事業計画及び収支予算)
第37条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の決議を経るものとする。これを変更する場合も、同様とする。
2 予算等については定時総会に報告するものとする。
3 予算等については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)
第38条 この法人の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1)事業報告
  - (2)事業報告の付属明細書
  - (3)貸借対照表
  - (4)損益計算書(正味財産増減計算書)
  - (5)貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の付属明細書
  - (6)財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時総会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。
- 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1)監査報告
- (2)理事及び監事の名簿
- (3)理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4)運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第39条 理事長は公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする。

第9章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第40条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第41条 この法人は、総会において総会員の議決権の4分の3以上の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取り消し等に伴う贈与)

第42条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合(その権利義務を承継する法人が公益法人であるときは除く。)には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第43条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の総会員の議決権の4分の3以上の議決を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第10章 公告の方法

(公告の方法)

第44条 この法人の公告は、電子公告により行う。
2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

第11章 補 則

(細則)

第45条 この定款のほか、この法人の運営に必要な事項は、理事会の決議により協会細則に定める。

附則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 この法人の最初の代表理事は上瀧博正とする。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第36条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

変更

2013年(平成25年)5月29日、第26条(責任の免除又は限定)変更

2016年(平成28年)5月24日、第37条(事業計画及び収支予算)変更

【参考文献】

- 『全国出版新聞』合本 第1号～99号 全国出版協会（1949～1954）
- 『読書タイムズ』合本 第102号～222号 全国出版協会（1954～1958）
- 『日本雑誌協会十年史』日本雑誌協会（1967.2）
- 『日本雑誌協会史 第二部 戦中・戦後期』日本雑誌協会（1969.9）
- 『日本書籍出版協会十年史』日本書籍出版協会（1967.11）
- 『日本雑誌協会 日本書籍出版協会 50年史』日本雑誌協会・日本書籍出版協会（2007.11）
- 『東販が生れるまで』東京出版販売（1955.9）
- 『東販十年史』東京出版販売（1959.9）
- 『東販十五年史』東京出版販売（1964.9）
- 『東販二十年史』東京出版販売（1969.12）
- 『飛翔－トーハン50年の軌跡』トーハン（2000.3）
- 『日本出版界のあゆみ』誠文堂新光社（1962.6）
- 『ひとつの出版・文化界史話』中央大学出版部（1970.3）
- 『限りなき「出版統計」の道を求めて 出版科研の舞台裏 石井彦澄』三笠書房（1986.11）
- 『文藝春秋』2005年12月号記事「亡き父が見た出版大粛清事件－立花隆」文藝春秋
- 『あしたへ。文字・活字文化推進の10年』メディアパル（2018.2）
- 『平成出版データブック 「出版年鑑」から読む30年史』ミネルヴァ書房（2019.10）

【編集後記】

全国出版協会は70年の歩みの中で、その使命、役割は時代時代の要請で、時には大きく変わり、時には新たな役割が追加されるという形で今日に至っています。全協の歴史は、1. 戦後の混乱の中、初期の出版業界の健全な発展に向けた活動の歴史、2. 出版科学研究所の事業を核として今日にも続く統計、編集活動の歴史、3. 平成時代からの文字活字文化の振興、読書推進の活動の歴史として大きく見ることができます。

令和の時代が始まり、出版界も世代が変わり行く中、今日では全協の歴史・活動を知る人も数少なくなりました。そうしたことから、全国出版協会設立70年を契機に今日までの活動を記録しておく必要性を思い、執筆に至りました。この年史が皆様にも多少なりとお役に立ち、当協会へのご理解を深めて頂ければ幸いです。なお、長きにわたり全協の活動を支えて頂いている全協会員社の皆様には、この場をお借りして、感謝の意を表したいと思います。

公益社団法人全国出版協会 常務理事 堀川嘉一

全国出版協会 70 年史

令和2（2020）年5月25日発行

発行人 浅野純次

編集人 堀川嘉一

公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所

〒162-8710 東京都新宿区東五軒町6番24号トーハン本社内

電話 03-3269-1379 FAX 03-3266-1855

URL <https://www.ajpea.or.jp/>

執筆（1章・4章・5章） 堀川嘉一、原正昭

執筆（2章・3章） 佐々木利春

表紙写真協力 八重洲ブックセンター

印刷・製本 東港出版印刷株式会社

公益社団法人 全国出版協会

The All Japan Magazine and Book Publisher's and Editor's Association